

## 2. 東部地域の肉用牛改良への取り組み

大分家畜保健衛生所

○久々宮 仁三、(病鑑)内田 雅春、岡 正則

### 【はじめに】

管内の別府市、日出町、国東市は古くから肉用牛が飼養されてきたが、繁殖農家戸数が管内の由布市、杵築市等の産地と比べ少ないため、産地としては後進地と見なされてきた。しかし近年の農家の高齢化等による戸数減少の中、市町村の枠を超えて肉用牛農家の情報・意識の共有、改良の推進、飼養技術の研鑽などがより重要となってきた。この情勢下、当該地域の農家、人工授精師等の強い要望を受け、新たに肉用牛育種改良組合を設立し、肉用牛育種改良推進事業に係る和牛改良組合として知事より認定された。東部肉用牛育種改良組合のこれまでの経過と今後の課題について報告する。

### 【経過】

数年前～ 別府市、日出町（農家・授精師）より育種改良組合設立の要望があり、頭数要件より杵築市肉用牛育種改良組合に、地域拡大の要請を行ったが不調に終わった。その後もこの要望が度々上がっていた。

H21. 10. 26 杵築市肉用牛育種改良組合役員会にて組合地域の拡大を打診。時期尚早との返答。

H21. 12. 15 国東市畜産組合役員会で組合設立の目的・効果等を説明。賛同の意見多数。

H21. 12. 24 畜産振興課・畜試・家保3者協議で東部肉用牛育種改良組合設立への経過説明を行う。設立については問題ない旨の回答。

H22. 1. 19 第1回組合事務局会議。組合の意義・目的の確認。組合規約の検討。

H22. 2. 4 日出支部設立総会。役員を選出。支部規約の承認。

H22. 2. 9 第2回組合事務局会議。組合・支部規約の修正。指定牛候補の調査を依頼。

H22. 3. 2 国東支部設立総会。役員を選出。支部規約の承認。指定牛の選定。

H22. 3. 3 別府支部設立総会。役員を選出。支部規約の承認。

H22. 3. 16 東部肉用牛育種改良組合設立総会。役員を選出。組合規約の承認。指定牛の選定。

H22. 3. 19 肉用牛育種改良組合認定申請書を知事あて提出。

H22. 4. 13 肉用牛育種改良推進事業に係る和牛改良組合として知事より認定。

H22. 6. 15 H22年度上期現場後代検定材料取得交配事業で2種雄牛の授精開始。

H22. 8. 3 平成22年度県肉用牛改良組合連合会総会で新規加入が承認される。

### 【今後の課題】

東部地域に飼養される繁殖雌牛の育種価で県上位に位置するもの少数で、また東部地域から市場に上場される子牛は増体及び取引価格のバラツキが大きい。こういった現状を改善するため、育種改良組合を中心に地域の基礎雌牛の改良及び飼養管理技術の向上及び平準化が課題である。具体的には組合指定牛の指定交配、及び当該産子を中心とする優良雌牛の地域内保留の推進。研修会、現地視察等を通じ組合員全体で飼養管理技術の向上及び平準化への意識の共有が重要と考える。